一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
16人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

改革ネット・自民

跡部 薫 議員

問 「災害時要援護者支援」の取り組みに対する市民理解への工夫と、自主防災組織と地域福祉関係者が連携する防災協議会の設置を。

答 地域懇談会等において説明を工夫しながら訴えていくとともに、防災コミュニティのあり方を検討していく。

その他の主な質問項目
○市制施行百二十周年の取り組み
○中高一貫校の教育内容について
○高齢者や障がい者に配慮した新公共交通総合戦略の策定

市立の中高一貫校として初めて開校された青陵中等教育学校

加藤 和彦 議員

問 児童生徒に「必要な能力」について、仙台市が独自に行う学力テストの出題はOECDが定めたキーコンピテンシーの趣旨に添っているか。

答 趣旨を踏まえ検討してきたが、新たに応用力を測る問いを追加し実施したい。

その他の主な質問項目
○向上を図るべき学力
○家庭の健全な生活態度
○学習への集中力
○体育教育の強化
○ふるさと教育の質の向上

斎藤 範夫 議員

問 ベガルタ仙台と仙台89ers（エイティナインアーズ）に対する施設使用料の減免の取り扱いは。

答 プロスポーツは自立が原則だが、様々な分野での地域貢献を考慮し、支援のあり方や施設使用料の減免について適切に判断してまいりたい。

その他の主な質問項目
○知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）の問題点
○外郭団体に対する市の関与
○公募提案方式による自動販売機の設置を

岡部 恒司 議員

問 るーぶる仙台特別号は利用客に好評で事業としても好調だった。大崎八幡宮ルート等新しい観光コースの開拓、さらなる努力や工夫が必要。今後の取り組みについて伺う。

答 沿線の観光資源の発掘や八幡町ルート等、新コースの工夫をし、新たな魅力を開拓しつつさらなる充実を図る。

その他の主な質問項目
○市長の職員人事に対する考え方
○分煙体制の強化

西澤 啓文 議員

問 私が実施した後期高齢者医療制度アンケート調査では「制度が難解」、「高負担」等不満が多かった。このような地方の実情を国に対して訴えるとともに市民に対しては制度の十分な周知を図るべき。

答 市政だよりやパンフレット等を通じ、見直しを含む制度の周知をさらに図り、国にも早期の課題解決を要望する。

その他の主な質問項目
○家庭ごみの不適正排出対策
○市中心部の固定資産税

大泉 鉄之助 議員

問 行革で推進してきた職員削減は、業務を委託すること等により人件費が物件費や委託費に化けただけで、真の行革とは言えない。新たな計画策定に向けた決意を伺う。

答 市民の理解を得るとともに、議会での幅広い議論も踏まえ、本市の将来のために行財政改革の努力を続ける。

その他の主な質問項目
○市長の時代認識について
○大区役所制の諸問題の解決
○待機児童世帯の実情把握を

民主クラブ仙台

佐藤 わか子 議員

問 青葉山周辺整備は、組織横断のプロジェクトチームを作り方向性の早急な決定を。

答 新設する「（仮称）東西線沿線まちづくり推進本部」の中で、総合的に推進する。

その他の主な質問項目
○青葉山公園の利活用策に電気バス導入案も入れるべき
○地産地消推進のため学校給食関係者も入った「地産地消推進委員会」を作るべき
○耕作放棄地解消に向け効果的で具体的な計画策定を

杜の都のシンボルとなる青葉山公園

安孫子 雅浩 議員

問 七十五歳以上の一人暮らし世帯が一万二千を超えた。自立した生活の支援策拡充を。

答 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう必要な施策を充実させる。

問 特別養護老人ホーム五百床の整備に市の誘導策を。

答 多床室の整備導入も交え、着実な整備促進に努める。

その他の主な質問項目
○定額給付金百六十億円問題
○市長の県教育委員会への働きかけは不適切の極みだ

きぼう

庄司 俊充 議員

問 特別養護老人ホーム整備促進のため、土地利用の転用、緩和等の誘導策を推進すべき。

答 土地利用を円滑にするため関係部局と連携し協議している。今後も施設整備の着実な促進に向け取り組みたい。

その他の主な質問項目
○農地改革プランと自給力
○鳥獣害対策への本市の対応
○障がい者の就労と活動支援
○新市立病院は利用者本位に
○IC乗車券導入基本計画

秋保地区で捕獲されたイノシシ

岡 征男 議員

問 タクシー券の不適正使用等で市長への信頼は地に堕ちている。自ら出処進退をはっきりすべき時ではないか。

答 残りの任期一日一日を市政運営に全力を尽くす。

問 失政二つ。保育所待機児童ワースト日本一。ガス民営化失敗。認識と今後は。

答 保育施策の信頼を揺るがす状況を重く受け止めている。

ガス事業民営化延期は経済の急激な悪化によるもので、誰かの責任という事ではない。適切な時期に再開していく。

公明党

小野寺 利裕 議員

問 本市はひとにやさしいまちづくり条例を制定・推進してきたが、ユニバーサル社会構築へのさらなる取り組みについて、市長の所見を伺う。

答 個々の施策の充実だけでなく、障がいの有無、年齢等に関わらず地域で自立し支えあう社会を構築しようという、市民全体の理解が必要だ。

その他の主な質問項目
○障がい者の就労支援
○弱視児への支援拡充
○思いやり駐車区画の設置

浜松市の思いやり駐車場
（写真提供：浜松市）

日本共産党

高見 のり子 議員

問 障害者自立支援法は廃止し、応益負担や日額制を止めるよう国に求めよ。

答 障害者が安心して暮らせる地域社会の実現に向け国に必要な働きかけをしていく。

問 市独自で利用者負担を無料にするには、約二億円あれば実現できる。実施せよ。

答 利用実態を把握し、必要な対応を図ってまいりたい。

その他の主な質問項目
○障害児放課後ケアの拡充を
○精神障害者への交通割引を

社民党

相沢 和紀 議員

問 県教育委員会が進める男女共学方針に対する不当な介入を詫び、県との関係改善を図るべき。

答 問題の本質は、別学を選択肢として残すべきとの県民の意思があることである。

その他の主な質問項目
○介護保険制度の保険料改定の意義と今後の特別養護老人ホームの待機者対策
○アルコール依存症更生施設への対応と今後の対策
○東二番丁幼稚園廃止に伴う問題について

八島 幸三 議員

問 新市立病院の整備は救急医療、精神科合併症対策、大規模災害対策等に対応できる施設に。さらに職員体制の充実とアクセス対策を。

市民の命の砦となる救命救急センター

ふなやま 由美 議員

問 公立病院の経営形態見直しをおしつける国に従う必要はない。市立病院は今後も直営を堅持し、市民のための病院として役割を果たすべき。

答 市民に必要な医療を安定的に提供するため、経営形態の選択を検討する委員会において議論し、二十二年度内に方向性を取りまとめたい。

その他の主な質問項目
○病院群当番制事業の参加病院や協力病院への補助を増額し救急医療の充実を図れ

答 市立病院は地域の中核的病院であり、優秀な人材の確保に努め、患者等の利便性を考えた整備を検討したい。

その他の主な質問項目
○外郭団体職員の待遇改善を
○指定管理者職員の待遇改善
○錦ケ丘へ小学校整備検討を
○市職員の精神疾患対策を
○交付税の増額を求めること

無所属

渡辺 博 議員

問 政策決定の過程を情報公開し、透明性を図ることが市政運営の基本であると考えるがいかがか。

答 市政運営にあたり、情報公開などを通じて行政の透明性を確保することが大変重要であり、また、市民の代表である市議会における十分な議論を踏まえることが基本であると考えている。引き続きそれらを大切にしながら市政を推進していきたい。

その他の主な質問項目
○道州制・地方分権改革における仙台市長の役割について
○宮城県との連携と課題解決について
○東北地方の他都市との連携協調の必要について
○行政の継続性について
○市長の言う市民満足度の達成はされたのか

耐震対策等から移転新築される市立病院

常任委員会 審議の概要

平成21年2月27日開催

委員会に付託された議案番号を、各常任委員会名の下にまとめて記載しています。また、各議案名については、最終面の会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

総務財政委員会

付託された議案番号（第37～41・66・67・議第1号）
政策調整局・総務局・財政局・消防局その他を所管
委員長 斎藤 範夫　副委員長 小野寺 利裕

〈消防局からの報告〉
付託された八議案のうち、第三十八号・第四十一号議案は賛成多数で、他の六議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 市は平成二十二年まで職員定数を削減する計画だが、それでサービスが低下しては元も子もない。削減後についてどのように認識しているか。

答 職員定数削減により市民サービスの低下を招くことはあってはならないと認識している。内部事務の効率化等の行財政改革を進め、職員の資質の向上を図りながら市民サービスの向上に努めたい。

4月に開署した若林消防署河原町分署（イメージ）

〈消防局からの報告〉
○若林消防署河原町分署の開署について
〈その他の質問事項〉
○市長のタクシーチケット使用問題に対する随時監査について
○市長の公用車使用について

市民教育委員会

付託された議案番号（第43・55・61～63・65・68号）
企画市民局・教育委員会を所管
委員長 鈴木 広康　副委員長 小野寺 健

〈付託議案審査〉
付託された七議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 東二番丁幼稚園の運営主体が変わっても、教育の理念や方針が変わることなく、きちんと継続されていくべきと考えるがいかがか。

答 教育方針の継続は、運営を引き継ぐ事業者を選定する際に最も重視していた点であり、運営を引き継ぐ事業者は教育方針を継続する意向を示していることから、教育方針が大きく変わることはないと考えている。

〈企画市民局からの報告〉
○仙台サンプラザ運営事業者の募集について
〈教育局からの報告〉
○「携帯電話に関するアンケート調査」実施結果について
○博物館の臨時休館について
○子供図書室の開室について

民営化で存続される東二番丁幼稚園

健康福祉委員会

付託された議案番号（第46・47・57・64号）
健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管
委員長 鎌田 城行　副委員長 跡部 薫

〈付託議案審査〉
付託された四議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 食品衛生法の施行に関する条例の一部改正について、改正の意義、目的を伺う。

答 新たに自主回収報告制度、健康被害情報及び食品衛生法違反の報告制度を設け、情報を早期に把握、対応することで、被害の未然防止・拡大防止を図ることを目的としている。

問 健康増進センターの指定管理は、引き続き外郭団体が受託することとなっているが、今後、民間での指定受託可能性の検討について伺う。

答 民間の運動施設の増加により運動の拠点機能は縮小している一方、生活習慣病予防等の事業は重要なものと考えている。こういった点を勘案し、市民のためになるよう総合的に検討していきたい。

食品の安全性確保に取り組みます

経済環境委員会

付託された議案なし
環境局・経済局・農業委員会を所管
委員長 庄司 俊充　副委員長 菅原 健

〈経済局からの報告〉
○仙台市緊急雇用動向調査について

問 雇用環境がこれから厳しくなる中で、色々な相談があると思うが、その相談を総合的に受けてくれる窓口が必要となってくるのではないか。

答 四月の組織改正で、地域産業支援課内に雇用対策室という組織を設けるので、こちらでどれくらいの対応ができるのかを含めて検討していきたい。

問 この調査結果を受けて、今後の施策の中で生かしていくという点があれば聞かせてもらいたい。

答 既に地域産業支援課や産業振興事業団で色々なセミナーを増やしてきたりなどしているので、もう少し具体的な要望等の把握も必要かと思うが、拡充した施策の対応を考えていく必要があると思う。

経済情勢悪化の影響を受ける工業団地

公営企業委員会

付託された議案番号（第56号）
水道局・交通局・ガス局を所管
委員長 鈴木 勇治　副委員長 加藤 和彦

〈付託議案審査〉
付託された議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

問 水道の前納金制度を廃止してから四十年以上経って今、お返しするようになった経緯、理由について伺う。

答 昭和四十二年の前納金の徴収制度を廃止した段階では、八万八千件、千百万円ほどあって、一括で返還することが事務処理的に困難であったが、現在、六千七百件、百三十六万円ほどになったので、一括してお返しすることとした。

〈交通局・ガス局からの報告〉
○市民の要望に対応する市バスのダイヤ改正について
○都市ガスにおける原料費調整制度の適用について
○仙台北部中核工業団地等へのガス導管延長について

利便性の向上が求められる市営バス

都市整備建設委員会

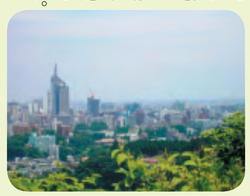
付託された議案番号（第48・49・51・60・69・70号）
都市整備局・建設局を所管
委員長 村上 一彦　副委員長 小田島 久美子

〈付託議案審査〉
付託された六議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

〈都市整備局からの報告〉
○「仙台市都市計画道路網見直し方針（案）」に関する市民意見募集結果と意見に対する本市の対応について

問 四十六件の市民意見は参考にならない。タイトルや質問内容を含め、興味を惹き答えやすいものにすべき。

答 今回は総論への意見聴取だったが、個別路線毎になれば多くの意見が出ると想定される。手法を工夫し多くの市民意見を伺ってまいりたい。


景観条例の改正により、より一層守られる美しい景観

〈その他の質問事項〉
問 市民から除雪作業が雑だ、遅いなどの不満の声があがっている。早期解決を。

答 除雪作業に携わっているパトロール業者・除雪業者間の連携強化などに取り組み、市民生活の安全確保に向けた冬道対策の向上に努めたい。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●グリーン・ニューディール（注1）（二面一段）
世界同時金融危機に伴う経済不況から脱出するため、環境・エネルギー対策を通じて景気回復・雇用創出と地球温暖化問題の同時解決を目指す政策の名称。アメリカ、ドイツをはじめ各国で検討・提案が行われており、日本でも検討中。

●学校裏サイト（注2）（二面六段）
学校の公式サイトとは別に、在校生や卒業生が勝手に立ち上げた非公式の匿名掲示板のこと。学校側が把握するのは難しく、個人名を出した中傷等が掲載されることがあり、いじめや自殺の原因となるなど社会問題となっている。

●官製ワーキングプア（注3）（三面五段）
おおむね年収二百万円以下の低収入の労働条件で働く非正規雇用の公務員の問題。近年急激に増加しており、今や、公務員全体の約三割程を占めるまでになっているといわれている。

●キーコンピテンシー（注4）（四面一段）
国際的な学力の概念。知識、技能だけでなく、様々なリソースを活用し、複雑な課題に対応する能力。中心となるのは、深く考え、行動すること。①ツールを活用する能力②人間関係形成能力③自律的に行動する能力に類別される。

●思いやり駐車区画（注5）（四面五段）
車いす使用者以外で安全を確保する必要のある人が利用するスペースとして設置された駐車区画。例えば、ベビーカー使用者や妊婦、高齢者等が利用の対象となっている。全国的に珍しく、自治体では三重県や浜松市が設置している。